

いっぱんしつもん

江田 治雄

市道の管理について

問 未登記の市道は全市でどの位存在するのか、また売買等による道路閉鎖の心配はないのか。

答 市全域では約千筆の未登記がある。時間と経費はかかるが徐々に進めて行く。また、道路閉鎖は道路法第4条の規程があり特に問題はないと思っている。

シリーズ有害鳥獣問題

問 被害の現状について、また防止特措法制定における市の対応については。

答 被害は益々拡大傾向にあり、猟友会に協力をいただき有害鳥獣捕獲に取り組んでいる。更に電気柵、防護柵の設置の対策補助も継続していく。特措法を受けて、鳥獣被害対策実施隊等の設置もできるので積極的な計画を立てて対応していく。



有害鳥獣被害

地域力について

問 秩父地域振興事業補助金の今年度の実績について。

答 地域住民が自分たち自身の力で地域社会を創るという概念に基づき市民力を高める目的で実施した。39件、2,236万円を補助金として交付した。来年度は地域の祭りや伝統芸能を伝承するために、地縁再生に向けての支援をするため、まちおこし底力再生事業を実施する予定である。

◎は、他に質問された項目です。

宮田 勝雄

道路特定財源について

問 暫定税率が廃止となった場合の秩父市への影響及び県出先機関への影響は。

答 秩父市への影響は廃止となると2億4千万の減額となる。埼玉県の特定期間は528億円が半減され、現在進行中の事業は大幅に遅れる。



新皆野橋

食の安全について

問 輸入食品についての取組は、日本の自給率向上は。市民農園を含め耕作放棄地の活用方法は。

答 中国産ギョウザが原因と思われる有機リン中毒事件が発生し、早急なチラシ配布等呼びかけ

落合 芳樹

市立病院について

問 救急医療と小児医療について。

答 どちらも厳しい状況だが、4月からは、小児科の常勤医師1名が確保できた。



市立病院

教育行政について

問 学校の適正規模と統廃合について。

答 各学年2ないし3学級程度ある方が望ましいが、それぞれの規模の学校には、それぞれの良さがある。統廃合は、保護者や地域住民、学校現場等から多くの意見を聞き、再編計画を慎重に検討

るなどし、関係機関と連携し安全な農産物が生産できるよう配慮したい。耕作放棄地解消モデル事業を計画している。

合併後の合併特例債の活用は

問 旧市町村の使用金額については。今年度の計画はどのようなものがあるのか。滝沢ダム原石山道路、原石山跡地の利用方法は。大滝地区林道推進は。

答 合併後の特例債は計画どおり進行中。滝沢原石山道路は公売の予定。林道については推進する。

川鵜対策について

問 デッドリバーとなってしまう河川対策は。

答 県でも対策委員会が発足、早急な対策を取りたい。

していきたい。

問 有料授業（学校と学習塾との連携）について。

答 当市での導入は、当面考えていない。

問 幼児教育の今後について。

答 私立幼稚園を含めて、市全体の幼児教育はどうあるべきか、関係者の皆様と協議し、検討していきたい。

問 奨学金等の保証人に必要な納税証明について。納税額表示のない証明書の提出を求めている。

地籍調査について

問 当市での現状と今後について。

答 旧大滝村で平成14年度から50年計画で実施中で、市全域を調査するかどうかを今後研究していきたい。

◎特認校・複式授業などについて

いっぱんしつもん

新井 兄三郎

行財政改革について

問 国の新基準による財政状況はどうか。

答 国は、財政再基準（レッドカード）を、実質赤字比率20%、連結実質赤字比率30%実質公債費比率35%としている。秩父市は黒字であるので実質赤字比率、連結実質赤字比率はゼロであり、実質公債費比率は11.7%であり健全財政となっている。

問 埼玉りそな総研が試算した秩父市の財政状況はどうか。

答 平成17年度の数値をもとにしたものであるが、秩父市は、埼玉県内2番目に財政バランスのとれた良好な状態であるとの判断をいただいている。今後の財政改革の施策はどうか。

答 現在チャレンジ80プランの推進により経常

経費の削減に努めている。合併によるスケールメリットで人件費が大幅に削減されている。首長、議員、審議委員の削減により年約3.8億円、一般職員の減員で約5億円の削減ができた。今後、さらに人的削減や経常経費の削減だけでなく、市町村合併により得られた財政支援措置や過疎対策事業債など有利な制度を利用し、さらに健全な財政運営に努めていく。



市役所本庁舎

新井 康一

秩父事件に関連して

問 「やさしいみんなの秩父学」では「自由民権運動と関連付けることでしか困民党の意味を見出せないという立場は、すでに過去のものとなった。秩父困民党に関する評価もこうした動向の中で見直さなければならぬ段階に至った。」と締めくくっている。中学校の歴史教科書でも秩父事件を



井上伝蔵邸（秩父事件資料館）

自由民権運動の激化事件として扱っているが、これが市の公式見解なら学校で教えている内容を否定していることになるがどうなのか。

答 秩父事件には諸説があると紹介したもので、市の公式見解には当たらないと考えている。

平成20年度の学校教育について

問 夏休み短縮について20年度についてはどのような方向で考えているのか。また「全国学力テスト」について今年も実施するのか。

答 夏休み短縮は学校管理規則に従い今年度も実施する。学力テストは教育指導等の改善に役立つと考え、来年度の調査にも参加する。

◎最近の市長の発言から（子ども医療費無料化と無料妊婦健診）

◎市役所庁舎・市民会館の今後について

富田 恵子

安全なまちづくり

問 避難所指定校の防災機能の整備、要援護者の支援、防災訓練に子どもたちを防災リーダーとして参加、福祉避難所を平成22年度までに3か所整備について。

答 学校施設の防災機能の整備に充実を図る。非難支援プラン策定に併せ作業部会で検討する。

問 通学路の安全のためカラー舗装の推進の考えは。通学路安全総点検の整備計画を策定中で、秩父警察署と協議しカラー舗装を推進する。

問 小柱、柳井橋付近、県道皆野荒川線と市道幹線60号の三叉路に右折レーンの設置、名称の表示について。

答 小柱インターの供用開始に伴い、計画はあったが協力が得られず、今後も県と連携して取り組む。名称は道の案内の役目を果たすので、地元町会と協議し、設置をすすめる。



柳井橋交差点

地方再生対策債の活用について

問 自主的・主体的な活性化施策について

答 当市の試算額は約2億円。妊産婦検診費用の助成拡大や子ども農山漁村交流プロジェクトのために、秩父市子ども農山村交流協議会を設立、若者の就労支援として、わが子の自立支援セミナーの実施等、特別支援教育補助員4名の増員を予定している。

◎は、他に質問された項目です。